

くまがや

Kumagaya City public relations magazine

VOL.79 2012



県内初の大発見

2月26日、箱田氏館跡発掘調査現場(中西)で遺跡見学会が行われました。人の歯やガラス小玉などの貴重な出土品が展示され、多くの人で賑わいました。

CONTENTS

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-----------------------------|
| 2 特集
平成24年度 予算の概要 | 10 市政情報 | 24 文化施設情報 |
| 5 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を一部助成します ほか | 16 暮らしの情報 | 28 熊谷教育「知・徳・体」のバランスのとれた教育を! |
| 6 第6回夢・未来 熊谷ジュニア議会が開催されました | 19 スポーツ情報 | 30 フォトニュース・市報クイズ おたよりパレット |
| 8 市政ワイド
いきいきあんしん 元気で長寿のまち くまがや ほか | 20 暮らしの相談 | 32 情熱世代・さあ、歩こう! くまさんぼ |
| | 21 いきいき元気みんなの健康 | |

平成24年度

予算の概要

平成24年度一般会計の予算規模は、575億円で、対前年度比2.04%、額にして、12億円の減となりました。これは、小学校3校の屋内運動場の建築やすべての中学校の普通教室にエアコンを整備する事業総額15億1,400万円を平成23年度3月補正に前倒しして計上したことによるものです。

◆財政課 内線241



熊谷市長 富岡 清

東日本大震災の発生から早一年が経過し、わが国経済をはじめ、様々な場面で、深刻な打撃を受けております。

本市におきましても、長引く経済不況の中、市税収入への影響が続く一方、福祉や医療に係る経費の増大が避けられず、厳しい財政運営を迫られております。

こうした中、予算編成にあたりましては、総合振興計画を基

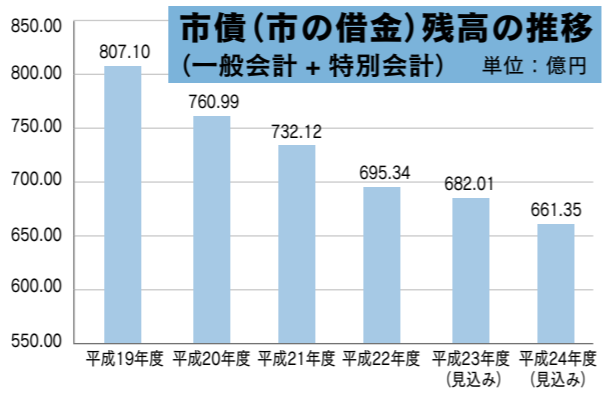
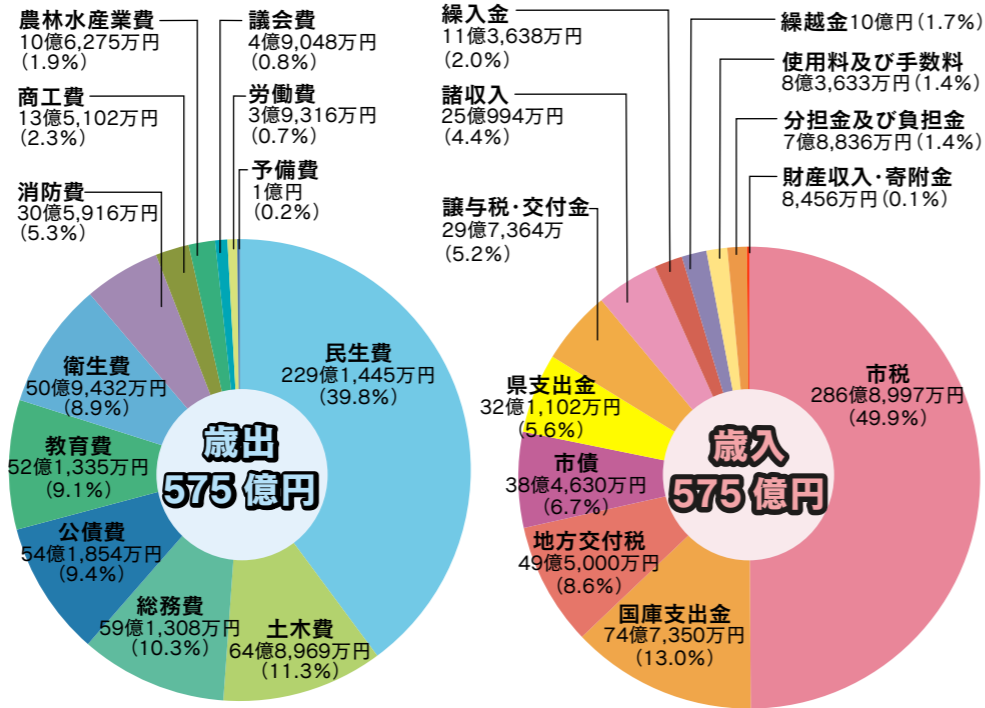
本に、これまで重点的に取り組んでまいりました「子育て応援」「経済対策」「安心安全対策」および「環境対策」をさらに拡充するとともに、マニフェストに掲げました「信頼、誇り、笑顔」の3つの目標を目指し、限られた財源の中、市民のくらしを守るため、真に必要な施策を重点的に取り組むことといたしました。

今後とも、市政運営にあたりましては、効率的で健全な行政運営を図りつつ、市民一人ひとりが豊かな環境の中で、誇りと希望を持って生き生きと生活ができる「環境共生都市 熊谷」の実現に向けて、一つ一つの施策を着実に進めてまいります。

平成24年度当初予算

一般会計	575億円
特別会計合計	289億2,000万円
国民健康保険	214億1,385万1千円
下水道	36億4,078万5千円
公共用地先行取得	1億4,990万4千円
駐車場事業	2億8,494万2千円
土地区画整理事業	11億1,674万2千円
農業集落排水事業	4億9,067万6千円
後期高齢者医療	18億2,310万円
水道事業	71億4,600万円
合計	935億6,600万円

一般会計 歳入・歳出の内訳



平成24年度 主な事業 (数字は予算額)
熊谷市総合振興計画の9つの政策に沿って紹介します。

1 魅力ある郷土をほこれるまち
坂田医院旧診療所等整備事業 (1,755万円)
坂田医院旧診療所等の施設補修を行い、妻沼聖天山を中心とした観光スポットの充実を図ります。



2 市民と行政が協働するまち
ウエルカム熊谷観光事業 (580万円)
新たに「るるぶ熊谷」を発行し、本市の魅力を発信します。

市民協働「熊谷の力」事業
涼しさ体感事業 (190万円)
地域の課題を解決するため、市民活動団体と市の協働により次の事業を実施します。



- ・サポーター・タグ普及事業 (40万円)
 - ・介護者サロンほっとたいむ事業 (38万円)
 - ・子育て応援セミナー事業 (190万円)
 - ・めぬま周遊サイクル事業 (70万円)
 - ・甲山古墳美化推進事業 (98万円)
- ※実施団体は15ページ参照

3 みんなで創る安全なまち
くまがや交通安全フェア事業 (193万円)
交通安全に関するイベントや体験、自転車点検等を行う「くまがや交通安全フェア」を開催します。

通学路交通安全対策事業 (6,000万円)
子どもたちが安全に通学できるよう、小学校の通学路の交通安全対策を計画的に実施します。

4 だれもが安心して健康に暮らせるまち
「暑さ対策」事業 (1,580万円)
熱中症予防グッズ配布事業 (193万円)
PR事業 (193万円)
まちなかオアシス事業 (125万円)
暑さにまけるな中学生事業 (30万円)



平成24年度の注目事業 数字は予算額

高齢者の「肺炎球菌ワクチン」予防接種の費用を一部助成します (1,849万円)
肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けた65歳以上の方に、接種費用の一部を助成し、高齢者の健康な暮らしを守ります。 [詳しくは、5ページ]

防災のまちづくりを進めます (1,279万円)
自助・共助の重要性を踏まえ、自主防災組織の活動を支援し、資材更新に係る補助を拡充するなど、地域防災力を向上させます。また、総合防災訓練の実施や災害備蓄食糧を計画的に配備します。

中央消防署、熊谷東小学校区の公民館が完成します (6億5,384万円/1億9,919万円)
建設中の中央消防署と熊谷東小学校区の地域公民館が熊谷女子高校東側に完成します。

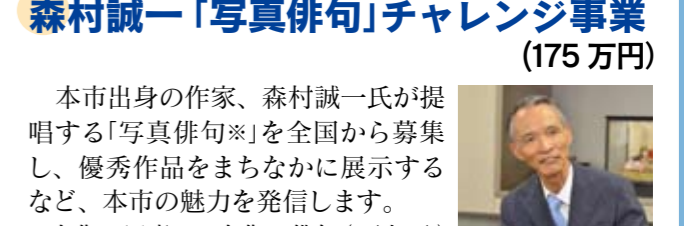
第2北大通線(第1期整備区間)が完成します (1億1,403万円)
メモリアル彩雲(南)から東武熊谷線跡地までの約450m(第一期整備区間)を整備し、供用を開始します。



地域子育て支援拠点事業 (8,093万円)
新たな地域子育て支援拠点を市内ショッピングセンター内に開設し、市内18か所の支援拠点で、子育て中の親子を応援します。

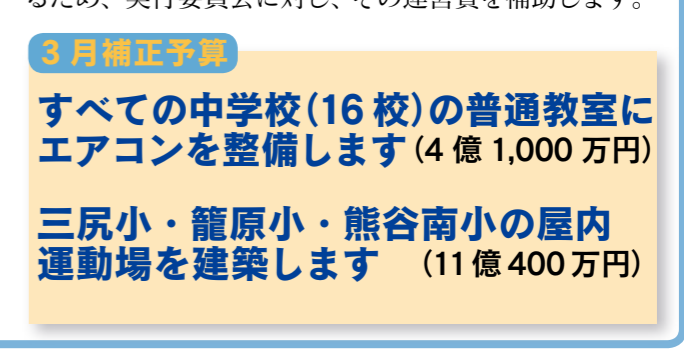
放課後児童保育室整備事業 (1,190万円)
市内35か所目の放課後児童クラブを新たに大幡小学校内に整備します。

森村誠一「写真俳句」チャレンジ事業 (175万円)
本市出身の作家、森村誠一氏が提唱する「写真俳句※」を全国から募集し、優秀作品をまちなかに展示するなど、本市の魅力を発信します。 ※自作の写真に、自作の俳句(五七五)を合わせた、新たな表現方法。



第67期本因坊戦熊谷対局実施事業 (200万円)
囲碁の第67期本因坊戦が聖天山歓喜院で開催されるため、実行委員会に対し、その運営費を補助します。

3月補正予算
すべての中学校(16校)の普通教室にエアコンを整備します (4億1,000万円)
三尻小・籠原小・熊谷南小の屋内運動場を建築します (11億400万円)



7月から開始 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を一部助成します

7月から、65歳以上の方を対象に高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の費用を一部助成します。高齢者肺炎球菌ワクチンは、希望によって接種を受ける**任意の予防接種**です。効果と副反応を理解いただき、医師と相談のうえ接種しましょう。

対象 市内在住の65歳以上で下記①または②に該当し、接種を希望する方

- ①初めて肺炎球菌ワクチンを接種する方
- ②肺炎球菌ワクチンを接種してから5年以上経過した方

助成額 接種費用のうち、市が4,000円を助成します。助成を受けるには必ず接種前に申請が必要です。(7月から受付開始)

※ただし、前記対象者のうち、生活保護世帯に属する方は、全額助成

- 接種回数** 1回
- 助成回数** 生涯1回のみ
- 接種期間** 7月から、通年で接種できます。
- 接種場所** 市内の契約医療機関
- その他**

①病気等により契約医療機関で接種できない場合には、必ず接種を受ける前に下記へご相談ください。

※事前申請がない場合には、助成が受けられません。
②7月1日以前の接種についての払い戻し制度はありません。

※申請方法など、詳しくは7月号市報でお知らせします。
◆健康づくり課 ☎048-528-0601



今年度も継続 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用を全額助成します

この予防接種は、保護者の希望によって接種を受ける**任意の予防接種**です。効果と副反応を理解いただき、医師と相談のうえ接種しましょう。

対象 市内在住で下表に該当し、接種を希望する方

接種期間 4月1日(日)～平成25年3月31日(日)

接種場所・費用 市内の契約医療機関で接種をする場合、接種費用は無料です。

その他 平成25年4月1日以降の助成内容は、変更される場合があります。

◆母子健康センター ☎048-525-2722

種類	対象年齢	助成(接種)回数	通知方法
子宮頸がん	①中学1年生～高校1年生相当の女子 ②高校2年生相当の女子のうち、平成24年3月31日までに接種を開始し、接種が未完了の方(平成24年3月31日までに未接種の方は対象外です。)	3回	中学1年生の方に個別通知(郵送)します。 ※中学1年生以外の対象者の方へは改めて通知はしません。
ヒブ	2か月～5歳未満 (接種時の年齢)	接種を開始した月齢により1～4回	2か月児の方に、個別通知(郵送)します。 ※予診票をお持ちでない方は、接種前に母子健康センターに母子健康手帳を持参のうえ、お越しください。
小児用肺炎球菌			

※平成23年度交付の子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌予診票はそのまま使用できます。(平成25年3月31日まで有効)

今年も皆さんの「あつい」活動を応援します!

1 「あついぞ!熊谷」冠エンタープライズ事業

「あついぞ!熊谷」の冠を事業名につけて広報したい事業や商品等を募り、市がまとめてチラシ・ポスター等でPRします。今年は、「あつべえ」シンボルキャラクター「あつべえ」または、「あついぞ!熊谷」に関連する商品の特集を予定しています。



対象となる事業
夏期(原則7月～9月)に実施し、次のいずれかの要件を満たすもの

- ①「あつい」とつながる内容である(暑い、熱い、篤い等)。
- ②「あつい」から行う取組みである(涼、風、緑、水、川、海のイメージ等)。
- ③「あついぞ!熊谷」シンボルキャラクター「あつべえ」に関連する取組みである。
- ④その他「熊谷市」をPRする取組みである。

2 「あついぞ!熊谷」U-18 少年熱中大使事業

スポーツや文化芸術分野で活躍し、広報大使として本市のPRを行ってくれる少年・少女を募ります。

対象となる少年・少女

18歳以下で、予選を勝ち抜き、規定レベルの大会に出場する方で、「あついぞ!熊谷」少年熱中大使となつて、大会会場等で、「あついぞ!熊谷」Tシャツ(プレミアム版)を着てくれる方。必ず大会に出場する前に申請してください。

※規定レベルの大会:中学生以下の方は、県大会レベル。それ以外の方は、関東大会レベル。

記念品
「あついぞ!熊谷」Tシャツ(プレミアム版)を差し上げます。



1 2 共通事項

応募方法
所定の応募用紙に記入し、下記(市役所3階)へ提出してください。
応募用紙は、市役所、行政センター、公民館等に設置してあるほか、市ホームページからダウンロードすることができます。

募集期間
1 5月18日(金)まで
2 随時

◆企画課 ☎内線 215
FAX 048-525-9222
Eメール kikaku@city.kumagaya.lg.jp

7 便利で快適な人にやさしいまち

熊谷スマートタウン整備事業 (409万円)
全国屈指の快晴率を誇る本市で、先導的に環境共生型のまちづくりに取り組むスマートタウンの整備を推進します。



8 地域に根ざした教育・文化のまち

市史編さん事業 (3,250万円)
本市の歴史的・文化的発展の過程を調査した熊谷市史資料編2 古代・中世」を刊行します。

さらに詳しい情報は、財政課(市役所3階)または市ホームページでご覧になれます。
◆財政課 ☎内線 241

9 効率的でわかりやすい行財政

北部地域振興交流拠点施設(仮称)基礎調査事業 (429万円)
県と共同で、地域の特色や資源を生かした次世代産業の振興・集積と地域の産業振興や文化・市民活動支援を促進するための基礎調査を実施します。

総合振興計画後期基本計画策定事業 (225万円)

本市の目指すべき将来都市像の実現を図るため、総合振興計画の後期基本計画(計画期間 平成25年度～29年度)を策定します。

5 自然の豊かさがあふれるまち

あつべえ・天晴・太陽光発電等普及推進事業 (3,500万円)
家庭用・業務用の太陽光発電システムや高効率給湯器を設置する市民・事業者に対し、設置にかかる費用の一部を補助します。

6 活力ある産業が育つまち

企業誘致推進事業 (1億2,798万円)
企業立地奨励金の交付要件の緩和や環境に係る奨励金のメニューの新設など、制度を充実させ、企業誘致を進めます。

8 地域に根ざした教育・文化のまち

低公害軽自動車導入奨励事業 (449万円)
低公害軽自動車(基準有)を購入し軽自動車税を納めた方に、軽自動車税相当額(納税額)を奨励金として交付します。

9 効率的でわかりやすい行財政

ムサシトミヨ生息区域保全全集中転換促進事業 (9,989万円)
合併処理浄化槽への転換を

さらに促進し、ムサシトミヨ生息区域の水質保全を図るため、事業を拡充し、整備率を向上させます。

子育て応援自転車おでかけ事業 (300万円)
安全基準を満たす「幼児2人同乗用自転車」を購入した方を対象に、購入費用の一部を補助します。



ハローエンジェル誕生記念品プレゼント事業 (851万円)
子どもの誕生を祝い、健やかな子育てを応援します。出生記念品として、ブランケットをプレゼントします。

保育所等災害時緊急連絡システム事業(77万円)
メール配信システム「メールくま」を活用し、保育所や児童クラブと保護者との間の連絡体制を充実させます。

あつべえ・冷ませ・低公害軽自動車導入奨励事業 (449万円)
低公害軽自動車(基準有)を購入し軽自動車税を納めた方に、軽自動車税相当額(納税額)を奨励金として交付します。

ムサシトミヨ生息区域保全全集中転換促進事業 (9,989万円)
合併処理浄化槽への転換を



5 自然の豊かさがあふれるまち
あつべえ・天晴・太陽光発電等普及推進事業 (3,500万円)
家庭用・業務用の太陽光発電システムや高効率給湯器を設置する市民・事業者に対し、設置にかかる費用の一部を補助します。



6 活力ある産業が育つまち
企業誘致推進事業 (1億2,798万円)
企業立地奨励金の交付要件の緩和や環境に係る奨励金のメニューの新設など、制度を充実させ、企業誘致を進めます。

7 便利で快適な人にやさしいまち
熊谷スマートタウン整備事業 (409万円)
全国屈指の快晴率を誇る本市で、先導的に環境共生型のまちづくりに取り組むスマートタウンの整備を推進します。

ワークショップ

今回から議会開催の準備段階として本市への理解を深めていただくため、ワークショップを2回開催し、市職員を講師としての市政に対する事前学習と学校紹介、グループ討論を通して生徒間の交流も図りました。
※名称についても熊谷市子ども議会から夢・未来熊谷ジュニア議会に改めました。

グループ討論



議提議案

「歩行者や自転車にやさしい、交通事故が少ない安全なまちをつくる決議」

この議提議案は、ワークショップのグループ討論で将来の熊谷について話し合い、その結果をまとめたもので、ジュニア議員全員の賛成で採択されました。

採択にあたり、ジュニア議員を代表して玉井中学校の小川直紀議員、眞下里沙議員が「今回の意見交換をおして私たちは、ふるさと熊谷の将来について考え行動することの大切さを知りました。この気持ちを忘れないで、多くの人たちと協力し歩行者や自転車にやさしい環境に配慮したまち、交通事故が少ない安全なまち熊谷をつくることを決議します。」と壇上で力強く朗読しました。



自転車に乗る人や歩行者が安心して通れるような道を増やすことや歩道や自転車専用道がない道には、それらを作ることができないでしょうか。



答弁をする富岡市長



壇上で質問をする

して、まちなかの自転車道整備、バリアフリー整備、景観整備などについて考える「熊谷市道路空間整備推進委員会」をつくり、国道17号・市役所通線・県道太田熊谷線などを自転車道ネットワークの軸として、様々な検討・調査に取り組んでいます。

また、中学校についても、全普通教室への設置に向け、現在設計を進めており、平成24年度に工事を実施する予定です。

熊谷市の小・中学校でのエアコン設置はどのようになっていますか。



壇上で質問をする

このほかにも貴重なご意見をいただきました。これからの市政運営の参考にさせていただきます。



富岡市長(前列中央左)、磯崎市議会議長(前列中央右)とジュニア議員

未来の熊谷を担う子どもたちの視点を市政に生かす 第6回 夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました

1月29日、熊谷市議会本会議場で、第6回夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました。市内の16の中学校から代表として選ばれたジュニア議員が、市政について感じていること、疑問に思っていることを質問し、市長をはじめ、副市長、教育長、担当部長が答弁しました。

◆広報広聴課 ☎内線206

東日本大震災を受けて危機管理体制について今後の対策や方針などの計画はありますか。

市では、住宅が密集する市街地を中心に地震直後の避難場所として、公園や広場などを、一時避難場所や広域避難場所に指定しています。また、市内一円の避難施設については、建物の強度による安全性や生活するための利便性などを充足している既存施設の中から、設備や地域ごとの人口分布を考慮して、小学校を指定避難所、中学校や公民館、保育所や集会所などを補助避難所と位置づけています。自治会を主体とした自主防災組織は、震災以降、10%近くも組織率が向上しています。市では、引き続き自主防災組織の新規設立に向け、自治会等への働きかけや防災訓練への支援を行うことにより、組織率の向上と地域防災力の充実・強化を図ってまいります。また、東日本大震災やこれまでの風水害を教訓として、実効性の高い地域防災計画の見直し作業や手続を急いでいます。

熊谷市の行っていいエコ活動について具体的な取り組みや、これからの予定などを教えてください。

市では、太陽光発電システムを設置する市民や事業者に対して、補助制度を設けて、自然エネルギーの利活用促進に取り組んでいます。また、緑のカーテン補助制度やコンテスタを実施することで、壁面緑化の普及を図り、夏の暑さの緩和に取り組んでいます。さらに、平成24年度には、低公害で低燃費の軽自動車を購入された方に対して奨励金を交付し、環境にやさしい自動車の普及に取り組むなど様々なエコ活動に取り組んでいます。



挙手して質問へ臨む

ジュニア議員の感想 ジュニア議会を終えて

- ・ワークショップやジュニア議会で、熊谷市の取り組みについて知ることができました。
- ・事前にワークショップを開くのは、とても良いことだと思いました。他の学校の人と友達になれたりして、刺激も受けました。
- ・熊谷市のためになるボランティアや地域活動に取り組んでいきたいです。
- ・議会のことや市のことについて知識を深めることができ楽しかったです。
- ・身近なことに市政が関わっていることを知り、興味を持ちました。
- ・今回この議会で学んだことを活かして生徒会活動に役立てていきたいです。



印II議長	II副議長	学校名	議員氏名
関口 愛香	赤津 真緒	江南中学校	橋立 啓佑
船越 かれん	内田 裕太	妻沼西中学校	石井 美樹
青木 慎弥	飯塚 夕稀	妻沼東中学校	大嶋 真衣
田所 実宝	中村 魁星	大里中学校	安藤 駿
新 穂乃香	代 智彬	大幡中学校	原 拓也
平山 隼人	酒井 尋花	奈良中学校	菊地 黎奈
鈴木 皇貴	田沼 里佳子	三尻中学校	梅澤 盛佳
片桐 美紀	大澤 信彦	別府中学校	石井 唯貴
増田 美樹	青木 海将	吉岡中学校	小川 直紀
佐藤 一樹	飯田 希菜	中条中学校	眞下 里沙
矢木 真穂	長谷部 敦	大麻生中学校	眞下 里沙
		玉井中学校	石井 唯貴
		熊谷東中学校	梅澤 盛佳
		大原中学校	菊地 黎奈
		富士見中学校	安藤 駿
		荒川中学校	大嶋 真衣
			石井 美樹
			橋立 啓佑

ジュニア議員名簿(敬称略)

後期高齢者医療制度と国民健康保険に関するお知らせ

後期高齢者医療制度の保険料率と賦課限度額が変更となります

後期高齢者医療制度の保険料は、均等割と所得割により被保険者個人ごとに計算され、その保険料率は2年ごとに改定となります。平成24年度および平成25年度の保険料率および賦課限度額は、次のように変更となります。

	平成22・23年度	平成24・25年度
均等割額	40,300円	41,860円
所得割率	7.75%	8.25%
賦課限度額	50万円	55万円

また、世帯主と被保険者の所得額が以下に該当する場合は、保険料が軽減されます。

総所得金額等の合計額	軽減割合
33万円以下	均等割 8.5割軽減
33万円以下の内、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下(その他各種所得がない)	均等割 9割軽減
33万円 + {24.5万円 × 被保険者数(世帯主を除く)}以下	均等割 5割軽減
33万円 + {35万円 × 被保険者数}以下	均等割 2割軽減
58万円以下	所得割 5割軽減
後期高齢者医療制度に加入する前日において被用者保険の被扶養者であった方	所得割が課されず 均等割 9割軽減

後期高齢者の保養施設補助の申請窓口が変更となります

後期高齢者医療制度に加入されている方が熊谷市指定の保養施設を利用する場合、宿泊費の補助が受けられますが、平成24年度から申請窓口が次のとおり変更になります。

申請窓口
 長寿いきがい課 ⇒ 保険年金課(1階4番窓口)
 妻沼行政センター福祉課 ⇒ 妻沼行政センター市民環境課
 大里・江南行政センター市民福祉課は変更ありません。
 ◆保険年金課 ☎内線 278、302

国民健康保険税の軽減割合を拡大するとともに賦課限度額が変更となります

低所得者世帯の負担軽減を図るために、平成24年度分の国民健康保険税から国民健康保険の加入世帯の前年中の所得が一定額以下の世帯に対する均等割・平等割の軽減の割合及び範囲を次のように拡大するとともに、賦課限度額が変更となります。

1 軽減割合の拡大	平成23年度	平成24年度
世帯主※1、加入者および特定同一世帯所属者※2の前年中の所得の合計額※3		
33万円以下	6割軽減	7割軽減
33万円 + (24万5千円 × 世帯主を除く加入者および特定同一世帯所属者の数)以下	4割軽減	5割軽減
33万円 + (35万円 × 加入者および特定同一世帯所属者の数)以下	軽減なし	2割軽減

※1 世帯主
軽減の判定では、国保に加入していない世帯主も判定の対象となります。

※2 特定同一世帯所属者
国保から後期高齢者医療制度に移行された方で、移行後も継続して同一の世帯に属している方をいいます。ただし、世帯主の変更があった場合や、移行後5年を経過した場合は、特定同一世帯所属者ではありません。

※3 前年中の所得の合計額
軽減の判定については、世帯主と加入者及び特定同一世帯所属者の方の所得の合計により判断します。したがって所得状況が不明な方がいる世帯については、軽減はされませんので、軽減を受けるには国民健康保険に加入されている16歳以上の方全員の所得の申告が必要となります。

また、65歳以上の公的年金所得者は、年金所得からさらに15万円を控除した金額で判定します。

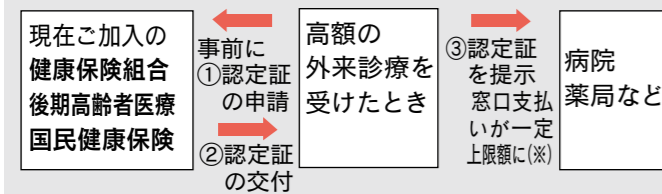
2 賦課限度額の変更	平成23年度	平成24年度
医療給付費分	47万円	50万円
後期高齢者支援金等分	12万円	13万円
介護納付金分	9万円	10万円

◆保険年金課 ☎内線 248、379

高額な外来診療を受ける皆さまへ

平成24年4月1日から

健康保険組合が発行する限度額認定証や被保険者証等を提示すれば、窓口での支払いが一定の金額にとどめられます。



※窓口支払いの上限額(月当たり)は、所得に応じて異なります。

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていたが、平成24年4月1日からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
70歳未満の方 70歳以上の非課税世帯の方	加入する健康保険組合などに「認定証」(限度額適用認定証)の交付を申請してください。	「認定証」を窓口で提示してください。
70歳以上75歳未満で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「高齢受給者証」を窓口で提示してください。
75歳以上で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口で提示してください。

病院薬局などで上記の提示がないと、支払額は従来通りとなります。支払った窓口負担と限度額の差額がある場合には、後日、ご加入の健康保険組合などから差額分が支給されます。

事前の申請など、詳細は、加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、市町村(国民健康保険、後期高齢者医療制度)、国保組合、共済組合までお問合せください。

◆保険年金課 ☎内線 278、279

いきいきあんしん 元気で長寿のまち くまがや

ずっと元気！らくらく体操教室

いつまでもいきいきと老後を過ごすために、日常生活の中に簡単体操をとりいれませんか？

対象 65歳以上の市民(登録制)で14回全てに参加できる方
※介護保険で要支援・要介護認定を受けている方や介護保険料の滞納がある方は対象となります。

定員 各会場とも30人(初回参加の方優先)

実施会場	実施日	時間	受付開始
別府公民館	5月7日～8月6日 の月曜日	10時～12時 14時～16時	4月10日 (火)～
熊谷保健センター	5月8日～8月7日 の火曜日	10時～12時 14時～16時	4月11日 (水)～
江南勤労センター	5月11日～8月10日 の金曜日	10時～12時 13時40分～15時40分	4月12日 (木)～

※全14回中、運動器の機能向上12回、口腔機能向上・栄養改善教室を各1回実施します。

持ち物 運動のできる支度・上履き用運動靴・タオル・飲み物(水筒またはペットボトル)・バスタオル

申込み 各会場の受付開始日から電話で下記へ。

※申込みは1会場のみ。料金は無料です。参加の可否は後日ご案内します。

◆長寿いきがい課 ☎内線 217、451

健康入浴券を交付します

申請により4月1日現在で、65歳以上77歳未満の方に100円で利用できる券、77歳以上の方に無料券を交付します。

交付枚数 自宅にお風呂のない方は月あたり4枚、自宅にお風呂のある方は月あたり1枚

利用できる浴場	住所	電話番号
朝日湯	本石 1-332	☎048-521-5165
桜湯	筑波 3-98-1	☎048-521-2418
見晴湯	伊勢町 264-2	☎048-521-3934

利用希望者は、下記へ申請書を提出してください。

◆長寿いきがい課 ☎内線 280

◆各行政センター福祉担当課

敬老マッサージ・鍼灸サービス 利用補助券を交付します

満70歳以上の方に申請により2,000円分の敬老マッサージ・鍼灸サービス利用補助券を交付します。

利用希望者は下記へ申請書を提出してください。利用補助券は、4月1日から平成25年3月31日までの間に1回限り利用できます。

利用できる施術所はお問合せください。

◆長寿いきがい課 ☎内線 280

◆各行政センター福祉担当課

熊谷さくら運動公園屋内プール「アクアピア」 無料利用券を交付します

高齢者の健康づくりを目的に、熊谷さくら運動公園屋内プールの無料利用券を、申請により交付します。

対象 4月1日現在で、65歳以上の方

交付枚数 一人あたり年度内2枚

交付期間 4月1日～平成25年3月31日(利用有効期間についても同様)

交付場所 下記にて。

◆長寿いきがい課 ☎内線 280

◆熊谷さくら運動公園屋内プール ☎048-533-9100

(公社)熊谷市シルバー人材センター 会員入会説明会

対象 市内在住の60歳以上で、健康で働く意欲があり、シルバー人材センターの理念を理解し、賛同してくださる方

	入会説明会 とき・ところ	入会受付 とき・ところ
本部 事務所	毎月第2金曜日 13時30分～ 勤労青少年ホーム ほか	毎月第3金曜日 10時～15時 シルバー人材センター本部事務所
妻沼 事務所	毎月第2水曜日 13時30分～ シルバー人材センター妻沼事務所	毎月第3水曜日 10時～12時 シルバー人材センター妻沼事務所

○どちらの会場でも受け付けてきます。

○都合により受付日が変わる場合があります。

※入会希望者は、必ず入会説明会に参加してください。

※入会するときは必要書類等(入会説明会で配布)をご持参ください。

◆熊谷市シルバー人材センター本部事務所 ☎048-524-2810



明日へチャレンジ！地域の元気から あなたと市長の ハートフル・ミーティング

市長が市内各所に伺い、市民の皆さんのご意見やアイデア等をいただき、今後の市政に反映させるための懇談会です。皆様のご参加をお待ちしています。

	第1回	第2回
対象	主に市田小学校区	主に吉見小学校区
とき	4月28日(土) 14:00～16:00	5月12日(土) 14:00～16:00
ところ	大里コミュニティセンター ホール(東棟)	大里ふれあいセンター 2階大会議室
テーマ(1)	だれもが安心して健康に暮らせるまち(主に子育て支援)	市民と行政が協働するまち
テーマ(2)	地域性を考慮した災害対策について	地域に根ざした教育・文化のまち

募集対象および人員 主に、その小学校区に在住・在学・在勤の方、または学区内保育所、幼稚園、児童館等利用者の保護者で各回40人程度

申込み 電話またはFAX、Eメールに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、開催日の一週間前までに下記に申込みください。

なお、大里ふれあいセンターでの開催時には、2歳以上の幼児を保育士がお預かりします。お子さんがいて、お住まいの地区に参加いただけない方もご応募ください。託児、手話通訳を必要とされる方は、申込みの際にお申し出ください。

◆政策調査課 ☎内線 368 FAX ☎048-525-9222

Eメール seisakuchosa@city.kumagaya.lg.jp